

調整池から背後地への塩水浸入による塩害の恐れ

○H14年の短期開門調査(H14.4.24~5.20の約1ヶ月)において、-1.0~-1.2mの水位管理がなされても背後地の水路等に塩水が調整池側から浸入し、塩分が上昇し、農業に支障

○H23年8月下旬の小潮期(干潮でも潮位が下がらない)に発生した突発的な集中豪雨により背後地の低平地(標高-0.8m)より約4日間調整池の水位が高く、潮遊池の水が -0.17mまで上がり農地にオーバーフローした。

→ 海水であれば、深刻な塩害が発生

